

令和7年2月19日

古河市議会議長 赤坂 育男 殿

古河市議会議員 (10番) 阿久津 佳子

一般質問通告書

令和7年2月26日（から令和7年3月14日まで）の第1回古河市議会定例会において、古河市議会会議規則第62条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

なお、質問方式は、古河市議会基本条例第11条第1項に規定する（一括質問一括答弁方式 ・ 一問一答方式）で行います。

大項目	質問事項	質問要旨（具体的内容）	答弁を求める者
1. ごみ処理一元化について	(1) 可燃ごみ有料化に向けたスキーム（スケジュール等）について	①進捗状況について ②総和地区・三和地区の令和8年4月1日から可燃ごみ有料化開始および古河地区の令和10年4月1日から市内全域一元化は不変なのか。 ③全市民への説明と合意形成をどのように行うのか。	市長 所管部長
	(2) 令和6年1月23日の全員協議会で説明があった有料ごみ袋の価格内訳やその他の運用詳細について	①提示された価格の原価製造費、小売販売手数料、流通管理委託費（配送も含む）およびその他の委託事務手数料等の詳細について。収集日の増減は。 ②有料化した場合、採算の取れる価格はいくらなのか。 ③指定ごみ袋は、さしま環境管理事務組合で統一なのか。その場合、構成市町の歳入はどのように区分け配分するのか。 ④既に可燃ごみ減量化に協力をいただいている旧古河地区の市民にはどのように説明するのか。	市長 所管部長

大項目	質 問 事 項	質 問 要 旨（具体的内容）	答弁を求める者
	(3) 古河クリーンセンターの建物 や跡地利用について	①建物および跡地利用について ②市有財産として帰属するのか、しないのか。 ③古河地区から可燃ごみ等をさしまクリーンセンタ ー寺久へ収集運搬する際に、物理的な問題点や課 題はないのか（収集運搬費が増大するのではない か等）。 ④自然災害におけるリスクマネジメント、クライシ スマネジメントや収集運搬の財源の観点から、古 河クリーンセンターを存続させる考えの有無につ いて	市長 所管部長